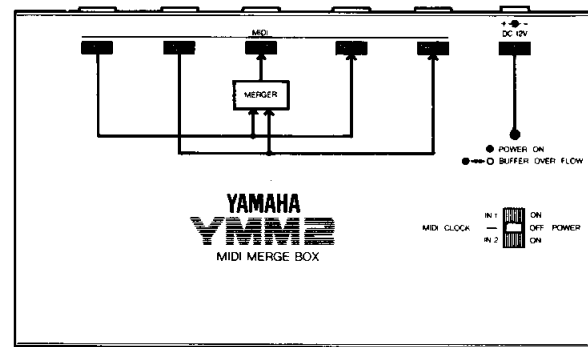


YAMAHA

MIDI MERGE BOX YMM2

取扱説明書



このたびは、ヤマハ・MIDIマージボックス・YMM2をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

YMM2は、2系統の異なるMIDI入力データをマージ(ミックス)して出力することができるため、MIDI機器の多様性や応用性をさらに広げることができます。

YMM2の性能をフルに発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を、よくお読みくださいますようお願いいたします。

目次

ご注意	2
仕様	2
電源	2
基本動作	3
MIDIクロックの選択	5
電源ON/バッファオーバーフロー表示	5
使用例	6
ブロックダイアグラム	8
サービスのご依頼について	9
お客様ご相談窓口	10

ご注意

1. 使用場所について

外装や内部の回路部品をいためますので、直射日光やストーブなどの発熱体の近く、湿気やホコリ、振動の多い場所には置かないでください。

また、YMM2にはデジタルマイクロプロセッサ回路が使われています。データのエラーを防ぐため、トランスやポンプ、冷蔵庫、テレビ等の電磁放射源から離してください。

2. ACアダプターについて

ACアダプターは、必ず付属のPA-1をお使いください。市販のアダプターには、極性や電圧の異なるものがあります。

3. 使用しない時は

使用しない時は、POWERスイッチをOFFの位置に戻すと共に、PA-1をACコンセントから抜いてください。

4. プラグの着脱について

コードの断線やショートを防ぐため、プラグの着脱は、コードでなくプラグを持って行ってください。

5. 物理的ショックを与えない

落としたり、物をぶつけたりの乱暴な取り扱い、製品に悪い影響を与えます。

6. 外装のお手入れ

外装のお手入れの際に、ベンジンやシンナー系の溶剤は使わないでください。柔らかい布でからぶきしてください。

仕様

機能.....MIDIマージボックス

インジケータ.....電源ON/バッファオーバーフローLED×1

スイッチ.....POWER(MIDI CLOCK IN 1/IN 2)×1

コネクタ.....MIDI IN 1, MIDI IN 2, MIDI OUT, MIDI THRU 1, MIDI THRU 2, DC 12V IN

寸法(W×H×D).....190mm×35mm×112mm

重量.....650g

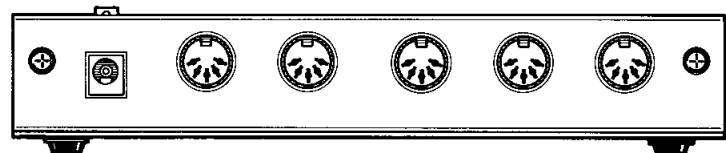
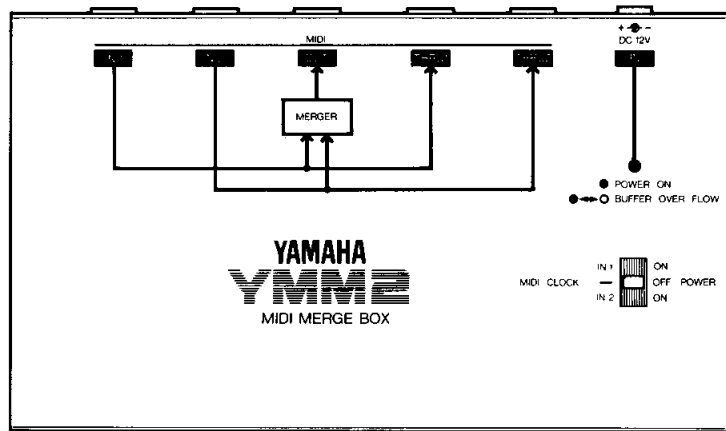
付属品.....ACアダプターPA-1

★仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

電源

YMM2は、ACアダプターPA-1(付属)から電源を受けて動作します。電源の投入は、YMM2リアパネルのDC 12VソケットにPA-1の出力ケーブルのプラグを差し込み、アダプター本体を近くのAC100Vコンセントに接続した後、行なってください。

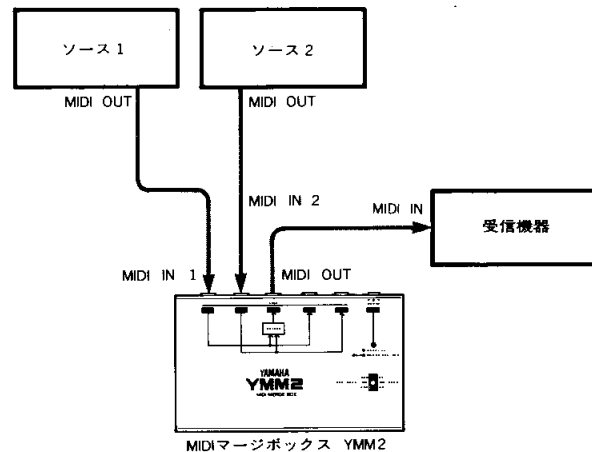
基本動作



YMM2には、5個のMIDIコネクターがあります。(IN1、IN2、OUT、THRU1、THRU2)。そして、基本的には、IN1とIN2のコネクターに入ってくる2つのMIDI信号を組み合わせる(ミックスして)OUTのコネクターに出力します。

また、THRU1とTHRU2のコネクターには、それぞれIN1とIN2のコネクターで受けた信号がそのままの状態でも出力されます。つまり、これらのコネクターにより、IN1とIN2で受けた信号を他の機器にも送ることができます。

※MIDIのオールノートオフ・メッセージは出力しません。



MIDIクロックの選択

YMM 2は、IN 1とIN 2から受ける信号の両方にクロック信号が含まれていても、MIDIクロックフィルターが装備されているため、クロックの相互干渉によりOUTのコネクターに接続した機器が誤動作することはありません。

OUTのコネクターに接続した機器にIN 1またはIN 2のクロックを送る場合には、POWERスイッチを希望する側(IN 1またはIN 2側)に切り換えてください。切り換えた側のクロック信号のみ組み合わせて出力します。

電源ON/バッファオーバーフロー表示

電源を入れると、動作が正常な時はトップパネル右側の赤いインジケーターが“点灯”します。もし、このインジケーターが“点滅”をした時は、IN 1とIN 2で受けるMIDIデータが多すぎてYMM 2内のバッファが飽和状態になったことが考えられます。この場合は、IN 1とIN 2に接続した機器のデータの出力をチェックしてください。

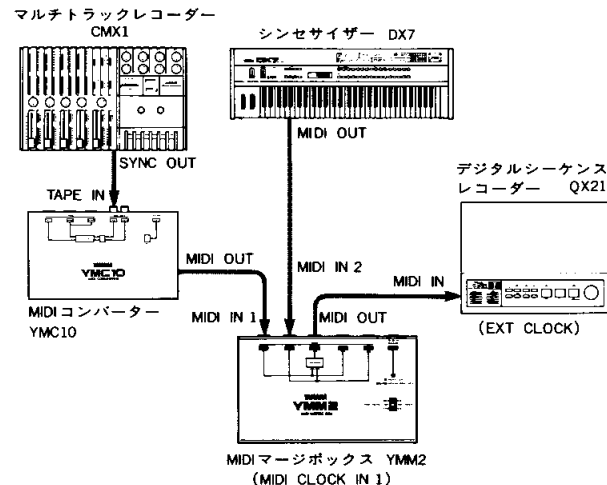
使用例

YMM 2の使用例をご紹介します。ここに示す以外にも様々な例が考えられますが、基本的な例としてご覧ください。

1. テープに同期させたシーケンサー録音

MIDIコンバーター・YMC 10やデジタルシーケンスレコーダー・QX 21を含んだマルチトラックレコーディングでの使用例です。通常は、マルチトラックレコーダーに記録した同期信号は、そのテープの他のトラックに既に録音済みの演奏と、リズムマシンやシーケンサーを単に同期再生させるために使います。しかし、YMM 2を使用すれば、シーケンサーを同期させて録音できるようになります。

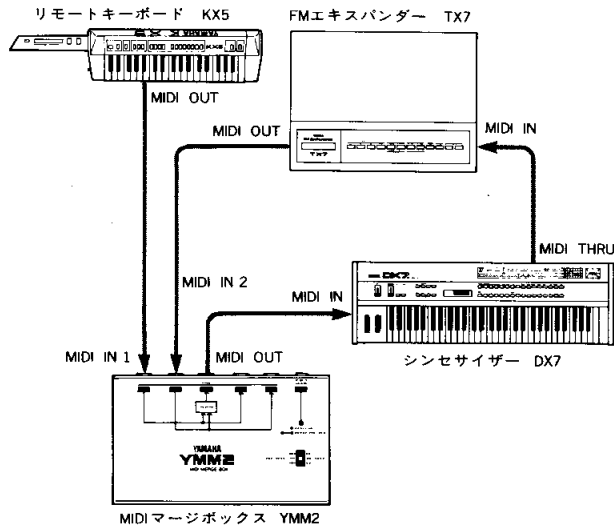
右図のように、マルチトラックレコーダーに記録済みの同期信号をYMC 10を介してIN 1へ、そしてシンセサイザーをIN 2へ、POWERスイッチを“MIDI CLOCK IN 1”にセットします。この状態でシーケンサーを録音状態にし、シンセサイザーを演奏すれば、シーケンサーには、マルチトラックレコーダーと同じクロック信号とシンセサイザーの演奏内容が録音され、マルチトラックレコーダーに既に録音されているものと完全に同期するようになります。



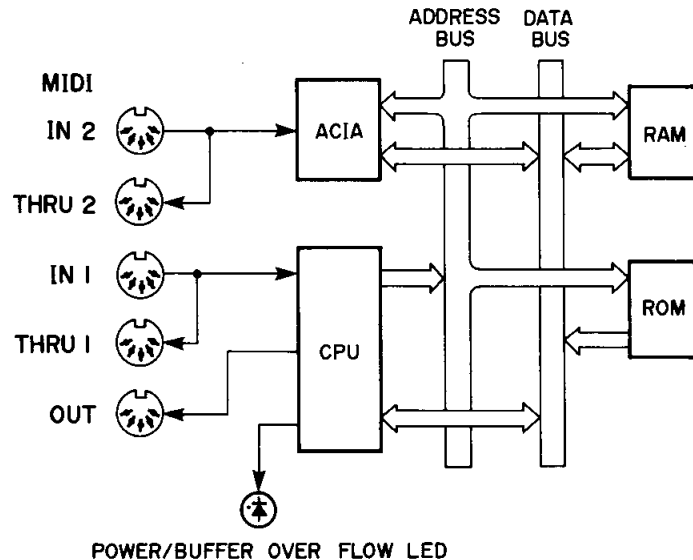
使用例

2. DX7とTX7を組み合わせたリモートキーボードからの演奏

FMエキスパンダーTX7をシンセサイザーDX7と組み合わせることにより生じる大きな利点は、音源が2つになることに加え、TX7がそれ自身に対してだけでなく、DX7の32音色それぞれに対して別々のファンクションメモリーを持つことができるということです。ただしこれには、TX7のMIDI OUTをDX7のMIDI INに接続し、またその逆の接続も必要です。しかしYMM 2により、このファンクションリコール機能を持たせながら、DX7とTX7の組み合わせをリモートキーボードKX5で演奏することができるようになります。KX5からのMIDI出力は、TX7からの出力と単にミックスされ、DX7のMIDI IN端子に送られ、新しい音色番号がKX5で選択されると、それに対応するファンクションデータがTX7からDX7に転送されます。



ブロックダイアグラム



■サービスのご依頼について

本機の保証期間は、保証書によりご購入から6ヶ月です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う6ヶ月間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご依頼頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。又お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器電音サービスステーションにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満6ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

そのほかご不明の点などございましたら、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.(044)434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.(0252)43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.(06)877-5262
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 (日本楽器 高松店内) TEL.(0878)51-7777・22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター3F) TEL.(052)652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL.(011)781-3621
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共配送センター3F TEL.(0222)36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL.(082)874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 (日本楽器宮付工場北側) TEL.(0534)65-6711
本社 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.(0534)65-1158

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

日本楽器製造株式会社 LM事業本部

本社	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.(0534)60)2431
東京事業所	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL.(03)574)8592
大阪事業所	〒542 大阪市南区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL.(06)252)5231
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.(052)201)5145
九州営業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.(092)472)2155
札幌営業所	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目ヤマハセンター TEL.(011)512)6113
仙台営業所	〒980 仙台市大町2-2-10 TEL.(0222)22)6146
広島営業所	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.(082)244)3744

